

アジア環境変異原学会（ACEM）第6回大会
日本環境変異原学会（JEMS）第48回大会
合同大会

趣意書

会期：本大会 2019年11月18日(月)～20日(水)

会場：一橋大学一橋講堂

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

学術総合センター内

アジア環境変異原学会第6回大会

日本環境変異原学会第48回大会

合同大会実行委員会

(大会会長：AAEMS/JEMS 会長 本間正充)

ご挨拶

謹啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はアジア環境変異原学会及び日本環境変異原学会に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

アジア環境変異原学会（ACEM）第6回大会及び日本環境変異原学会（JEMS）第48回大会合同大会を、東京都千代田区の一橋大学一橋講堂において2019年11月18日（月）から20日（水）の3日間にわたり開催いたします。

日本環境変異原学会は、「人間・生物・地球環境における変異原、とくに公衆の健康に重大な影響を及ぼす変異原と、これに関連する基礎研究の推進ならびに関連情報技術の伝達」を目的として、1972年に日本環境変異原研究会として発足し、その後1978年から学会組織となり、現在に至っています。今年の年大会は48回目となり、化学物質の毒性を研究対象とする学会組織の中では我が国で最も古い歴史を持ちます。

学会設立当初の研究は、環境中の変異原性汚染物質の同定、食品添加物・農薬等の変異原性の証明、加熱食品中の変異原性物質の同定、環境変異原・がん原物質の代謝活性化機構等の研究が主体でした。これら研究を通じて、多くの変異原性・遺伝毒性試験法が開発され、試験法の標準化、国際的ガイドライン化が進みました。また、研究の成果は、化審法、安衛法、食品衛生法などの法律に反映され、今日の日本では環境や食品を介しての変異原性物質の摂取による健康被害はほぼゼロになるように厳しく規制されています。これはまさにレギュラトリーサイエンスの勝利の結果です。一方、基礎研究の分野も設立当時から大きく進展しました。変異原性の主体はDNAです。分子生物学、細胞生物学、細胞遺伝学の進歩によりDNAの複製や修復機構が解明され、また解析技術の進歩から個々の変異原性物質の毒性メカニズムを詳細に知ることができるようになりました。現在では、全ゲノムDNA配列を短時間で解析し突然変異を同定することも難しいことではない時代になっています。このように日本環境変異原学会はレギュラトリーサイエンスと基礎研究を通じて、我々の生活環境中に存在する健康に重大な影響を及ぼす変異原物質をほぼ征服しました。学会創設から約50年を迎えようとしている現在、一つの時代が終わったと言っていいかもしれません。次の時代、日本環境変異原学会は何をすべきか？これは日本環境変異原学会に限らず全ての研究分野に共通する大きな課題です。

この重要な時期にアジア環境変異原学会（ACEM）第6回大会及び日本環境変異原学会（JEMS）第48回大会合同大会を開催するにあたり、2つの大きなテーマを掲げます。

本合同大会のテーマは、「アジアから始まる環境変異原ゲノム研究へのイノベーション」です。多くの人口を抱え、先進国、発展途上国が混在するアジア諸国は今後も大きく発展し、全ての国が近い将来、豊かな国になることは間違いありません。しかしながら、急激な発展は、

環境汚染物質、産業廃棄物、食物汚染物質、労働者暴露などによる健康問題を引き起こすことは明らかです。また、日本では2011年の東日本大震災の時に起きた福島第一原子力発電所事故により多くの住民は放射線による健康影響問題や風評に苦しめられました。フクシマの今と低線量被曝のリスクについて環境変異原学会で再考する必要があります。本学会では、アジア諸国が抱える環境変異原に起因する健康問題とそれに関する研究について理解を深めるため、以下の4つのシンポジウムを行います。これが1つめのテーマです。

シンポジウム1「アジアにおける大気汚染物質の曝露と健康リスク」

シンポジウム2「アリストロキア酸などの植物由来変異原による遺伝子傷害と発がん」

シンポジウム3「アジアの環境変異原研究では何が今問題となっているのか？」

シンポジウム4「低線量・低線量率放射線被ばくのリスク評価-福島とアジア諸国の現在-」

2つめのテーマは、日本環境変異原学会の進化です。現在、日本環境変異原学会では、創立50年を迎えるこの時期、新たな研究分野を開拓すべく学会名称の変更を検討しています。新学会名称として「日本環境変異原ゲノム学会」、「日本環境ゲノム毒性学会」などが挙げられています。ゲノムという言葉がすでに市民権を得ている現在、これを学会の名称に使うことは、新しい研究分野の開拓と、研究者、一般市民を含む多くの人へのアピールになるのではないかと考えています。今回の大会のテーマである、「アジアから始まる環境変異原ゲノム研究へのイノベーション」はまさにこのことを意識したものです。学会の名称変更は今後の学会の方向性にもかかわる重要な問題です。このことを深く議論するため特別シンポジウムとして「環境変異原学会の歩むべき道を考える」を企画します。また、これに関連する新たな研究分野として2つのシンポジウムと、1つのワークショップを行います。

シンポジウム5「ゲノミクスとアダクトミクスによるアプローチでアジアのがんを解明する」

シンポジウム6「ゲノム変異の分子メカニズム」

ワークショップ「ICH-M7 関連ワークショップ -QSARによる遺伝毒性の予測-」

ワークショップで行うQSARはIT技術による計算毒性学の一つであり、化学物質の遺伝毒性の予測手法に関しては、最近、急速な発展を遂げています。特に最近、ICH-M7では実際のエームス試験に替わりQSARにより医薬品不純物の変異原性を評価することが明文化されたため、医薬品業界ではQSAR手法は大きな注目を浴びています。環境変異原学会ではこれまで毎年ICH-M7関連QSARワークショップを本大会とは別に企画し、好評を得てきましたが、今回は多くの会員にQSARを理解していただくためこの合同大会で行います。QSARによる変異原不純物の評価と管理と言った医薬品業界の方に興味のある内容だけでなく、AIやDeep Learningなどの新たな技術も紹介し、未来の毒性試験の姿を多くの参加者に考えていただけることを期待しています。

これに関連して、イタリアの Romualdo Benigni 博士を招聘し、基調講演” QSAR is an essential tool of integrative assessment strategies” をお願いする予定です。Benigni 博士はイタリア国立衛生研究所に勤め、化学構造を基盤とした遺伝毒性予測モデル研究の第一人者で有り、QSAR に関する多数の論文を出版しています。実は化学構造を基盤とした遺伝毒性予測モデルの研究は既に 1970 年台から行われています。Benigni 博士の講演を聴き、ICH-M7 関連ワークショップに参加することにより、参加者は「温故知新」を感じることができるかもしれません。

この他、会員による最新の研究に関するポスター発表、口頭発表のセッションも予定しております。国際学会であるため基本的には英語で行いますが、特別シンポジウムは日本語セッションとして議論を深め、また QSAR のワークショップでは初心者にも内容を深く理解していただくため、日本語—英語の同時通訳を用意する予定です。

国内・海外参加者、および、産・官・学いずれの研究者にも興味を持っていただける内容を企画しております。

本大会開催の趣意にご賛同いただき、是非とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

謹白

2019 年 1 月吉日

アジア環境変異原学会第 6 回大会

日本環境変異原学会第 48 回大会

合同大会

大会会長 本間 正充

(AAEMS/JEMS 会長, 国立医薬品食品衛生研究所)



大会概要

1. 名称：アジア環境変異原学会第6回大会/日本環境変異原学会第48回大会合同大会
大会HP：<http://www.acem-jems2019.jp>
2. 趣旨：日本環境変異原学会第48回大会は、日本環境変異原学会会則第4条に従い、変異原性物質と関連分野の研究の推進並びに関連情報・技術の伝達を目的とし、第5条により日本環境変異原学会の事業として開催する。また、アジア環境変異原学会第6回大会は、アジア環境変異原学会会則第4条に従い、アジア環境変異原学会メンバーによる科学的情報やアイデアの交換、専門的経験の交流、技術的問題解決のための科学的技術の提供を目的として開催する。
3. 実行委員会：
大会会長：
本間 正充（AAEMS/JEMS 会長，国立医薬品食品衛生研究所）
実行委員：
青木 康展（国立環境研究所）
赤沼 三恵（株式会社クレハ）
朝倉 省二（エーザイ株式会社）
浅野 哲秀（大阪信愛女子短期大学）
石井 雄二（国立医薬品食品衛生研究所）
宇野 芳文（田辺三菱製薬株式会社）
大山 ワカ子（株式会社ヤクルト本社）
尾崎 正康（キヤノン株式会社）
紙谷 浩之（国立大学法人 広島大学）
河井 一明（産業医科大学）
木本 崇文（帝人ファーマ株式会社）
小山 直己（エーザイ株式会社）
坂本 浩子（キヤノン株式会社）
杉山 圭一（国立医薬品食品衛生研究所）
鈴木 孝昌（国立医薬品食品衛生研究所）
竹入 章（中外製薬株式会社）
戸塚 ゆ加里（国立がん研究センター）
中川 宗洋（株式会社LSIメディエンス）
羽倉 昌志（エーザイ株式会社）
橋爪 恒夫（日本たばこ産業株式会社）
橋本 清弘（武田薬品工業株式会社）
濱田 修一（株式会社LSIメディエンス）

福田 隆之 (株式会社ボゾリサーチセンター)
堀端 克良 (国立医薬品食品衛生研究所)
本田 大士 (花王株式会社)
増村 健一 (国立医薬品食品衛生研究所)
三島 雅之 (中外製薬株式会社)
森田 健 (国立医薬品食品衛生研究所)
安井 学 (国立医薬品食品衛生研究所)
山田 雅巳 (防衛大学校)
山本 美香 (アステラス製薬株式会社)

4. 会期 : 2019 年 11 月 18 日 (月) ~ 20 日 (水)

5. 会場 : 一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

TEL: 03-4212-3900 FAX: 03-4212-3910

URL: <http://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

6. 構成 : 本大会

シンポジウム 1 : 「アジアにおける大気汚染物質の曝露と健康リスク」

シンポジウム 2 : 「アリストロキア酸などの植物由来変異原による遺伝子傷害と発がん」

シンポジウム 3 : 「アジアの環境変異原研究では何が今問題となっているのか？」

シンポジウム 4 : 「低線量・低線量率放射線被ばくのリスク評価 -福島とアジア諸国の現在-」

シンポジウム 5 : 「ゲノミクスとアダクトミクスによるアプローチでアジアのがんを解明する」

シンポジウム 6 : 「ゲノム変異の分子メカニズム」

ワークショップ : 「ICH-M7 関連ワークショップ -QSAR による遺伝毒性の予測-」

特別企画 : 環境変異原学会の歩むべき道を考える

基調講演 : 「QSAR is an essential tool of integrative assessment strategies」

Dr. Romualdo Benigni (Alpha-Pretox)

一般演題 : ポスター発表、一部について口頭発表

企業展示

7. 参加予定者 : 約 400 名

8. 大会事務局

総務担当：三島 雅之

中外製薬株式会社 富士御殿場研究所内

〒412-8513 静岡県御殿場市駒門1番地135

TEL：0550-87-8768 FAX：0550-87-1960

E-mail：secretariat@acem-jems2019.jp

mishimamsy@chugai-pharm.co.jp

財務担当：濱田 修一

株式会社L S I メディエンス 試験研究センター 鹿島研究所内

〒314-0255 茨城県神栖市砂山14番地1

TEL：0479-46-2871

E-mail：secretariat@acem-jems2019.jp

Hamada.Shuuichi@mh.medience.co.jp

9. 運営事務局

担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか

株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号

TEL：022-236-7161 FAX：022-236-7163

E-mail：acem-jems2019@senkyo.co.jp

10. 経費概算

収入の部

内訳	参加費	800万円
	学会補助	120万円
	広告・展示等収入	120万円
	協賛金・助成金等収入	450万円
	収入総額	1490万円

支出の部

内訳	会場使用料	240万円
	会場関係費	400万円
	印刷製本費	200万円
	講演者招聘費用等	450万円
	大会運営費・事務連絡費等	200万円
	支出総額	1490万円

11. ご協賛のお願い

本大会開催に必要な諸経費として1490万円を予定しております。これらの経費は参加者の参加費等でまかなうべきではありますが、個人が負担できる額には限界があり、大会に必要な経費の一部は、諸団体、法人、有志からのご寄附に頼らざるを得ない状況にあります。私共は、最小限の経費で本大会を開催するよう努力いたしますが、本学会員の研究成果を発表し、社会に還元するためには、本大会を成功させる必要があります。

このような事情をご考慮いただき、何卒アジア環境変異原学会第6回大会/日本環境変異原学会第48回大会合同大会にご支援・ご協力を賜りたく、ご高配いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、大会開催にあたりまして、本大会の要旨集への広告掲載、大会HPへのバナー広告掲載、関連した機器、試薬、医薬品、食品等の付設展示を募集しております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年1月吉日

アジア環境変異原学会第6回大会
日本環境変異原学会第48回大会
合同大会
大会会長 本間 正充
(AAEMS/JEMS 会長, 国立医薬品食品衛生研究所)

ご協賛お申込みのご案内

目的： アジア環境変異原学会第6回大会及び日本環境変異原学会第48回大会合同大会の準備及び運営資金の補助

募資金額： 1口 50,000円（できましたら2口以上でお願いいたします）

申込み方法：

協賛金申込書（別紙1）にご記入の上、運営事務局へE-mailまたはFAXにてご送付下さい。協賛金の振り込みは、下記の銀行口座へお願いいたします。請求書が必要な場合には、お知らせいただければ、別途お送りいたします。なお、大変恐縮ですが、振込費用は各自ご負担いただきますようお願いいたします。

特典： 要旨集に御社名を一覧掲示し、謝意を表します。
一件につき一名様を本大会（懇親会は含みません）へご招待いたします。

振込先：

銀行口座：三菱UFJ銀行(0005) 世田谷上町支店(368)
普通預金 口座番号：0113816
口座名称：日本環境変異原学会第48回大会 大会会長 本間正充
(ニホンカンキョウヘンイゲンガツカイ
ダイ48カイトイカイ タイカイカイチョウ ホンママサミツ)

申込先及び問い合わせ先：

運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩淵 あやか
株式会社仙台共同印刷
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163
E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

要旨集への広告お申込みのご案内

掲載冊子：アジア環境変異原学会第6回大会及び日本環境変異原学会第48回大会合同大会要旨集

配布時期：2019年10月末（送付）～11月20日（会期中）

発行部数：550部

広告形式：サイズA4

掲載費用：モノクロ半ページにつき 30,000円

モノクロ1ページにつき 50,000円

前または後表紙の裏（モノクロ）100,000円

申込方法：広告申込書（別紙2）にご記入の上、運営事務局へE-mail またはFAXにてご送付
いただくとともに、下記の銀行口座へお振り込みをお願いいたします。請求書が
必要な場合は、お知らせいただければ別途お送りいたします。なお、大変恐縮ですが、
振込費用は各自ご負担いただきますようお願いいたします。

特典：要旨集に御社名を一覧掲示し、謝意を表します。要旨集の無償提供はございませんので
ご了承下さい。

振込先：銀行口座：三菱UFJ銀行(0005) 世田谷上町支店(368)

普通預金 口座番号：0113816

口座名称：日本環境変異原学会第48回大会 大会長 本間正充

(ニホンカンキョウヘンイゲンガツカイ

ダイ48カイトイカイ タイカイチョウ ホンママサミツ)

広告原稿詳細と入稿方法：

・サイズ：A4 1ページ：ヨコ 210mm×タテ 297mm 以内

A4 半ページ：ヨコ 210mm×タテ 148.5mm 以内

※印刷工程に適したサイズへ微調整させていただくこともあります

- ・入稿（データ）形式：完全版下電子データで、Adobe Illustrator で制作したアウトライ
ン済みの EPS データ、画像データをご使用の場合は、その画像も添付して下さい（画像
解像度は 350dpi 以上の CMYK のデータ）。すべてのデータについて出力見本（プリント
したもの）をご用意下さい。また、フィルム・紙焼き・清刷でも受け付けは可能です。
- ・広告原稿送付締切：2019年9月27日（金）
- ・広告原稿送付方法：E-mail もしくは郵送にて下記運営事務局にご送付下さい。

申込先及び問い合わせ先：

運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか

〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号 株式会社仙台共同印刷

TEL：022-236-7161

FAX：022-236-7163

E-mail：acem-jems2019@senkyo.co.jp

バナー広告お申込みのご案内

掲載HP：アジア環境変異原学会第6回大会及び日本環境変異原学会第48回大会合同大会HP
<http://acem-jems2019.jp/>

掲載時期：HP作成（申込み時点）～HP閉鎖時

掲載費用：30,000円

申込方法：

広告申込書（別紙3）にご記入の上、運営事務局へE-mailまたはFAXにてご送付
いただくとともに、下記の銀行口座へお振り込みをお願いいたします。請求書が必要な
場合は、お知らせいただければ別途お送りいたします。なお、大変恐縮ですが、
振込費用は各自ご負担いただきますようお願いいたします。

特典：要旨集に御社名を一覧掲示し、謝意を表します。

振込先：

銀行口座：三菱UFJ銀行(0005) 世田谷上町支店(368)
普通預金 口座番号：0113816
口座名称：日本環境変異原学会第48回大会 大会会長 本間正充
(ニホンカンキョウヘンイゲンガツカイ
ダイ48カイトイカイ タイカイカイチョウ ホンママサミツ)

バナー広告原稿詳細と入稿方法：

- ・サイズ：上下 55×左右 240pixels、50KB 以内。
- ・入稿（データ）形式：GIF もしくは JPEG 形式、アニメ、無限ループ可。
- ・データ送付方法：E-mail にて下記運営事務局にご送付下さい。

申込先及び問い合わせ先：

運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩淵 あやか
株式会社仙台共同印刷
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163
E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

付設企業展示会お申込みのご案内

会期：2019年11月18日（月）～20日（水）

会場：一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

TEL：03-4212-3900 FAX：03-4212-3910

URL：<http://www.hit-u.ac.jp/hall/access.jp.html>

学会参加予定者：約400名

展示期間（予定）：2019年 11月18日（月）午前10時～午後6時30分

11月19日（火）午前9時～午後6時

11月20日（水）午前9時～正午

（11月17日（日）午後6時～9時に搬入、11月20日（水）午後1時まで搬出終了）

展示形式：パネル＋机＋椅子＋社名表示（詳細は決まり次第お知らせいたします）

※電気関係費は含まれません

出展料：1小間につき 70,000円

申込方法：出展申込書（別紙4）にご記入の上、運営事務局へE-mailまたはFAXにてご送付

いただくとともに、下記の銀行口座へお振り込みをお願いいたします。請求書が

必要な場合は、お知らせいただければ別途お送りいたします。なお、大変恐縮ですが、

振込費用は各自ご負担いただきますようお願いいたします。

特典：要旨集に御社名を一覧掲示し、謝意を表します。

振込先：銀行口座：三菱UFJ銀行（0005）世田谷上町支店（368）

普通預金 口座番号：0113816

口座名称：日本環境変異原学会第48回大会 大会会長 本間正充

（ニホンカンキョウヘンイゲンガツカイ

ダイ48カイトイカイ タイカイカイチョウ ホンママサミツ）

申込先及び問い合わせ先：

運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか

〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号 株式会社仙台共同印刷

TEL：022-236-7161 FAX：022-236-7163 E-mail：acem-jems2019@senkyo.co.jp

**アジア環境変異原学会第 6 回大会及び
日本環境変異原学会第 48 回大会合同大会「協賛金」申込書**

お申込み日	2019年 月 日	
貴社名		
ご担当者	ご芳名	
	所属部署	
	ご住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
協賛金	金 円也 (口)	
請求書	必要 不要 (どちらかを○で囲んで下さい) ※必要に○をされた方は下記送付方法も選択下さい PDF メール添付 ・ 郵送 (どちらかを○で囲んで下さい) (送付先が「ご担当者」と異なる場合は、事前にお知らせ下さい)	
ご入金予定日	2019年 月 日	
備考		

※本申込書に必要事項をご記入の上、下記の運営事務局まで E-mail または FAX にて、
2019年9月27日(金)までにお申し込み下さい。

※申込先およびお問合せ先：運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町2丁目4番2号 株式会社仙台共同印刷
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163 E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

※ご記入いただいた個人情報の内容につきましては、本学会のご連絡及び各種ご案内以外には使用いたしません。

**アジア環境変異原学会第 6 回大会及び
日本環境変異原学会第 48 回大会合同大会「広告掲載」申込書**

お申込み日	2019年 月 日	
貴社名		
ご担当者	ご芳名	
	所属部署	
	ご住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
掲載料	モノクロ半ページにつき	30,000 円 (<input type="checkbox"/>)
	モノクロ 1 ページにつき	50,000 円 (<input type="checkbox"/>)
	前または後表紙の裏 (モノクロ)	100,000 円 (<input type="checkbox"/>)
	合計	円也
請求書	必要 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> (どちらかを○で囲んで下さい) ※必要に○をされた方は下記送付方法も選択下さい PDF メール添付 ・ 郵送 (どちらかを○で囲んで下さい) (送付先が「ご担当者」と異なる場合は、事前にお知らせ下さい)	
ご入金予定日	2019年 月 日	
備考		

※本申込書に必要事項をご記入の上、下記の運営事務局まで E-mail または FAX にて、
2019 年 9 月 27 日 (金) までにお申し込み下さい。

※申込先およびお問合せ先：運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 2 丁目 4 番 2 号 株式会社仙台共同印刷
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163 E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

※ご記入いただいた個人情報の内容につきましては、本学会のご連絡及び各種ご案内以外には使用いたしません。

**アジア環境変異原学会第 6 回大会及び
日本環境変異原学会第 48 回大会合同大会「バナー広告掲載」申込書**

お申込み日	2019年 月 日	
貴社名		
ご担当者	ご芳名	
	所属部署	
	ご住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
	掲載料	1 件につき 30,000 円 (口) 合計 円也
請求書	必要 不要 (どちらかを○で囲んで下さい) ※必要に○をされた方は下記送付方法も選択下さい PDF メール添付 ・ 郵送 (どちらかを○で囲んで下さい) (送付先が「ご担当者」と異なる場合は、事前にお知らせ下さい)	
ご入金予定日	2019年 月 日	
備考		

※本申込書に必要事項をご記入の上、下記の運営事務局まで E-mail または FAX にて、
2019 年 9 月 27 日 (金) までにお申し込み下さい。

※申込先およびお問合せ先：運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 2 丁目 4 番 2 号 株式会社仙台共同印刷
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163 E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

※ご記入いただいた個人情報の内容につきましては、本学会のご連絡及び各種ご案内以外には使用いたしません。

**アジア環境変異原学会第 6 回大会及び
日本環境変異原学会第 48 回大会合同大会「付設企業展示会」申込書**

お申込み日	2019年 月 日	
貴社名		
ご担当者	ご芳名	
	所属部署	
	ご住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
出展料	1 小間につき 70,000 円 (小間) 合計 円也	
主な出展内容		
電気供給	必要 ・ 不要 (どちらかを○で囲んで下さい) ※必要に○をされた方は下記詳細もお知らせ下さい 容量: W 用途:	
請求書	必要 不要 (どちらかを○で囲んで下さい) ※必要に○をされた方は下記送付方法も選択下さい PDF メール添付 ・ 郵送 (どちらかを○で囲んで下さい) (送付先が「ご担当者」と異なる場合は、事前にお知らせ下さい)	
ご入金予定日	2019年 月 日	
備考		

※本申込書に必要事項をご記入の上、下記の運営事務局まで E-mail または FAX にて、
2019 年 9 月 27 日 (金) までにお申し込み下さい。

※申込先およびお問合せ先：運営事務局 担当：長谷川 美貴、岩渕 あやか
〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町 2 丁目 4 番 2 号 株式会社仙台共同印刷
TEL: 022-236-7161 FAX: 022-236-7163 E-mail: acem-jems2019@senkyo.co.jp

※ご記入いただいた個人情報の内容につきましては、本学会のご連絡及び各種ご案内以外には使用いたしません。